



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年7月28日

上場会社名 株式会社中村屋 上場取引所 東
 コード番号 2204 URL <https://www.nakamuraya.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役会長（氏名） 鈴木 達也
 問合せ先責任者（役職名） 取締役兼執行役員（氏名） 鈴木 克司（TEL） 03-5325-2711
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第1四半期の業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,316	12.9	△1,184	—	△1,134	—	△775	—
2022年3月期第1四半期	4,710	10.7	△1,272	—	△1,224	—	△799	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△130.10	—
2022年3月期第1四半期	△133.99	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	40,583	24,899	61.4
2022年3月期	42,143	26,084	61.9

（参考）自己資本 2023年3月期第1四半期 24,899百万円 2022年3月期 26,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,600	7.4	△2,300	—	△2,250	—	△1,600	—	△268.42
通期	34,000	2.8	100	—	220	249.2	180	△22.6	30.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	5,976,205株	2022年3月期	5,976,205株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	15,610株	2022年3月期	15,581株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	5,960,603株	2022年3月期1Q	5,960,819株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、感染者の減少に伴わない経済活動の制限も徐々に緩和される動きがみられています。一方、世界的な資源価格の高騰や地政学的リスクの顕在化等により景気は依然先行き不透明な状況が続いております。

菓子・食品業界におきましても、物価の上昇でお客様の節約志向が更に強まり個人消費が伸び悩む中での営業活動や、原材料価格やエネルギー価格等の高騰により、引き続き厳しい経営環境が続くことが予想されております。

このような環境において、当社では新たな理念体系のもと、ビジョンである「中村屋は、創意工夫と挑戦で、これからの暮らしに溶け込む、喜んでもらえる食を提案する」を実践することで、ウィズコロナにおける新しい消費行動の変化に対応した結果、当第1四半期累計期間の売上高は、5,316,496千円 前年同期に対し606,314千円、12.9%の増収となりました。

利益面につきましては、売上増収したことにより、営業損失は1,183,626千円 前年同期に対し88,153千円の改善、経常損失は1,133,548千円 前年同期に対し90,058千円の改善、四半期純損失は775,453千円 前年同期に対し23,227千円の改善となりましたが、コロナ前の水準までの回復には至っていない状況です。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、原材料及び貯蔵品の増加547,499千円、商品及び製品の増加244,447千円等がありましたが、売掛金の減少1,771,061千円、投資有価証券の減少157,098千円、建物の減少135,050千円等により、前事業年度末に比べ1,559,724千円減少し、40,582,919千円となりました。

負債は、短期借入金の増加700,000千円等がありましたが、繰延税金負債の減少411,770千円、賞与引当金の減少273,744千円、未払金の減少185,637千円等により、前事業年度末に比べ374,583千円減少し、15,683,788千円となりました。

純資産は、四半期純損失775,453千円、剰余金の配当298,031千円による利益剰余金の減少等により、前事業年度末に比べ1,185,141千円減少し、24,899,132千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予測につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,187,214	1,124,200
売掛金	4,096,304	2,325,243
商品及び製品	1,557,629	1,802,075
仕掛品	39,236	42,703
原材料及び貯蔵品	1,038,132	1,495,631
その他	495,451	488,319
貸倒引当金	△517	△306
流動資産合計	8,413,448	7,277,865
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,637,862	8,502,812
構築物（純額）	579,671	572,888
機械及び装置（純額）	2,963,141	2,904,491
車両運搬具（純額）	93	70
工具、器具及び備品（純額）	321,935	323,241
土地	13,132,490	13,132,490
リース資産（純額）	1,927,738	1,848,953
建設仮勘定	12,464	44,586
有形固定資産合計	27,575,393	27,329,532
無形固定資産		
その他	211,304	204,441
無形固定資産合計	211,304	204,441
投資その他の資産		
投資有価証券	4,808,902	4,651,803
関係会社株式	536,056	536,056
その他	599,170	584,852
貸倒引当金	△1,631	△1,631
投資その他の資産合計	5,942,497	5,771,081
固定資産合計	33,729,195	33,305,055
資産合計	42,142,643	40,582,919

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,219,359	1,191,291
短期借入金	5,900,000	6,600,000
リース債務	117,203	117,203
未払金	1,097,327	911,690
未払費用	517,118	609,436
未払法人税等	103,516	25,951
賞与引当金	535,047	261,303
その他	161,167	81,261
流動負債合計	9,650,736	9,798,134
固定負債		
リース債務	541,312	512,011
繰延税金負債	2,734,592	2,322,822
退職給付引当金	2,378,204	2,301,390
資産除去債務	261,518	257,421
受入保証金	486,550	486,550
役員退職慰労未払金	5,460	5,460
固定負債合計	6,407,634	5,885,654
負債合計	16,058,371	15,683,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,469,402	7,469,402
資本剰余金		
資本準備金	6,481,558	6,481,558
その他資本剰余金	1,688,664	1,688,664
資本剰余金合計	8,170,223	8,170,223
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	3,341,190	3,322,657
別途積立金	5,204,932	5,204,932
繰越利益剰余金	458,276	△596,676
利益剰余金合計	9,004,398	7,930,914
自己株式	△66,661	△66,751
株主資本合計	24,577,362	23,503,787
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,506,911	1,395,344
評価・換算差額等合計	1,506,911	1,395,344
純資産合計	26,084,273	24,899,132
負債純資産合計	42,142,643	40,582,919

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,710,182	5,316,496
売上原価	3,529,463	3,998,586
売上総利益	1,180,719	1,317,910
販売費及び一般管理費		
販売費	1,910,475	1,972,180
一般管理費	542,023	529,355
販売費及び一般管理費合計	2,452,499	2,501,536
営業損失(△)	△1,271,779	△1,183,626
営業外収益		
受取配当金	7,552	7,882
助成金収入	38,480	37,505
その他	9,723	12,001
営業外収益合計	55,754	57,389
営業外費用		
支払利息	7,457	7,107
その他	123	204
営業外費用合計	7,581	7,311
経常損失(△)	△1,223,605	△1,133,548
特別利益		
固定資産売却益	3,788	—
投資有価証券売却益	86,078	—
特別利益合計	89,866	—
特別損失		
固定資産売却損	616	—
固定資産除却損	0	320
特別損失合計	616	320
税引前四半期純損失(△)	△1,134,356	△1,133,868
法人税、住民税及び事業税	8,612	4,141
法人税等調整額	△344,288	△362,556
法人税等合計	△335,676	△358,414
四半期純損失(△)	△798,680	△775,453

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又はサービス	2,637,270	1,955,390	—	4,592,660
顧客との契約から生じる収益	2,637,270	1,955,390	—	4,592,660
その他の収益	—	—	117,522	117,522
外部顧客への売上高	2,637,270	1,955,390	117,522	4,710,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,637,270	1,955,390	117,522	4,710,182
セグメント利益又は損失(△)	△958,540	199,145	29,639	△729,756

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△729,756
全社費用(注)	△542,023
四半期損益計算書の営業損失(△)	△1,271,779

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又は サービス	3,066,165	2,126,280	—	5,192,445
顧客との契約から生じる収益	3,066,165	2,126,280	—	5,192,445
その他の収益	—	—	124,051	124,051
外部顧客への売上高	3,066,165	2,126,280	124,051	5,316,496
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,066,165	2,126,280	124,051	5,316,496
セグメント利益又は損失(△)	△796,954	120,727	21,956	△654,270

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△654,270
全社費用(注)	△529,355
四半期損益計算書の営業損失(△)	△1,183,626

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。